

## 第三者評価 評価結果総括表

NPO 中小企業再生支援第三者評価事業部

事業所名	認可保育所 どうぞのひろば
報告書作成日	平成 29 年 11 月 30 日 (評価に要した期間 5 か月)
評価機関	NPO 中小企業再生支援第三者評価事業部

### 評価方法

自己評価方法 実施期間：平成 29 年 7 月 1 日 ～平成 29 年 9 月 23 日	全職員が参加し、各グループに分かれ、担当する分野の自己評価を書き上げ、職員会議などを通して、検討を重ね、その結果を、園長主任でまとめました。
評価調査員による評価方法 実施日：第 1 日目平成 29 年 10 月 06 日 実施日：第 2 日目平成 29 年 10 月 26 日	評価調査員が 2 日間園を訪問し、現場観察、書類確認、園長、職員 2 名に面接ヒアリングし、子どもの観察を行いました。
利用者家族アンケート実施方法 実施期間：平成 29 年 7 月 26 日 ～平成 29 年 8 月 4 日	全園児の保護者に、アンケート用紙と返信用封筒を園から渡して、園に回収箱を備え、無記名・密封の状態で評価機関が回収しました。
利用者本人調査方法 (実施日：平成 29 年 10 月 6 日、26 日)	園児の 1 日の流れに沿っての保育園での生活状況を、観察を中心に行いました。また、園児と遊びや食事をともにしながら、会話の中から聞き取りました。

## 評価結果についての講評

### 【施設の特徴】

#### ・立地および施設の概要

横浜市認可保育所「どうぞのひろば」は、JR横浜線 東急田園都市線、東急こどもの国線 長津田駅より、徒歩5分の所に3~5歳児の「本園」と、駅より徒歩2分の所に0~2歳児の「分園」があり、長津田駅に近いマークワンタワービル2階に立地し、働きに出る保護者にとって、子どもの送迎に便の良い園として、人気を博しております。「どうぞのひろば」本園は、二階建て園舎で、一階に3歳児室、二階に4、5歳児室を置き、園の南側には園庭があり、子どもたちが野菜や四季の花々を栽培するプランターや砂場があります。

園の周辺には、自然豊かな田園地帯があり、数多く存在する公園は、子どもたちの発育に合わせた、運動量をこなせる場所として、保育士は、毎回の散歩に選択しながら利用しています。

園の設置法人「学校法人原田学園」は、神奈川県下で昭和48年に幼稚園「みたけ台幼稚園」の前進幼稚園でスタートし、現在ではほかに、小規模保育事業「ベビーぽけっと松風台」と、「どうぞのひろば」を運営しています。2018年4月には、本園の筋向いに「シャルール保育園」を新たに開園する予定です。

#### ・園の特徴

園では、子どもの発達過程においては「絵本」とのかかわりが重要だとしています。

0歳児より年齢、月齢に合った絵本の毎月の購入を、保護者にもお願いしており、園児たちは年少児から年長児に至るまで、自由な時間ができるとすぐに、絵本を持ち出して中身を見る習慣が出来ているようでした。

また、勤務していた保育士が中学校教諭(音楽)の免許を持っており、週に一度、ピアノとバイオリン(又はオーボエなど)の生演奏による「ミニコンサート」を開催して、子どもたちの音楽による情緒を養っています。

### 【特に優れていると思われる点】

#### 1. 長距離散歩で体力づくり

園は、設置法人の「すべては子どもたちのために」の理念のもと、種々のプログラムを導入しており、その一つが「長距離歩行での体力づくり」です。幹線道路沿いの園は、一步裏道に入れば田畑が続き、柿がたわわに実り、きれいな川には水鳥が泳ぐ恵まれた田園風景に囲まれています。天気が良ければ、この田園沿いの道を散歩に出かけますが、2歳児は2km、3歳児は3kmぐらい歩けるように目標をもって、体力作りに励んでいます。また、異年齢での散歩を、月に数回計画しています。

#### 2. 一流音楽家によるミニコンサートの開催

3歳児から毎週「音あそび」があり、音大出身のプロで活躍している外部の講師2人から、歌唱などの指導を受けています。この2人の講師は、毎月のミニコンサートではピアノとバイオリンの二重奏で、ポップスやクラシックの名曲を、子どもたちの前で演奏してくれます。

#### 3. 乳児の時から絵本に親しむ習慣づくり

園では保護者の理解をもとに、0歳児より月刊絵本を購入していただき、家庭でも、園でも絵本を生活の中に取り込み、絵本に親しむ保育を目指しています。結果、幼児では、園生活の中でちょっとした自由時間が生まれると、各自、自分の意志で自分の持ち物棚や園の絵本棚から、本を持ち出し、ページをめくる姿が随所に見られました。

**【特に改善や工夫などを期待したい点】**


**1. 園は子育ての専門家集団として、より地域への貢献を**

地域には多くの未来の子育て世代や、未就園児を持つ保護者がいます。園は子育てに関する専門家を多数擁する事業所ですので、そのような子育てに関する悩み、相談を持つ地域の人に対して、講習会や研修会などの開催を含めて、積極的な支援努力を期待いたします。



## 評価機関による評価




平成 29 年 12 月 1 日


### 事業所名 認可保育所どうぞのひろば

 3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある



#### 評価領域 I 利用者（子ども本人）の尊重





評価分類	評価の理由（コメント）
<b>I - 1</b> 保育方針の共通理解と保育計画等の作成 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“すべては子どもたちのために”を合言葉に、子ども一人ひとりを大切に、保護者からも信頼され、家庭的で地域に愛される保育園を目指すを保育理念とすすんでからだを丈夫にする子、ともだちとあそべるやさしい子、ねばり強くがんばる子、保育目標としています。これら理念、目標を保護者や職員が常に目にできるよう正面玄関、各部屋 事務室にもカラー刷りで掲示しています。理念、方針などは、4月の園だよりに掲載し、乳児クラス・幼児クラスの保育計画は毎月の園だよりに掲載し保護者へ伝えていきます。</li> <li>・新人には2週間の研修で理念、基本方針を教えています。</li> <li>・年度末の新年度準備の日には原田学園グループ全職員が集まり、事業所の理念、方針について共通理解を深めています。</li> <li>・理念を実現するためのカリキュラムでは2歳児は2キロ、3歳児は3キロ目標に丈夫で強い体づくりのために遠くへ歩く散歩を実践し、最後まで歩き通す体力と精神力を養成しています。 この地域は10分も歩けばきれいな川が流れ田畑が広がるのどかな田園地域です。</li> <li>・指導計画は年間、月間、週案、日案（必要に応じて）、2歳児までの個別計画はそろっており、クラス担任が作成し、主任、園長と確認が取れています。 5歳児は「就学前の姿」として1クールを使ってその準備を行う期間があります。</li> <li>・“こどもの言葉を拾う”ということを合言葉にしており、「ねえ、ねえ」と子どもが発した場合は、「なあに」と対話的、応答的姿勢を全職員がもつように園長は指導し、職員もその意識をもって子どもに接しています。</li> </ul>
<b>I - 2</b> 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月中旬に新入園児保護者説明会、2月中旬に個人面談を行い、子どもの発達や家庭状況を聞き取り、記録し、担任及び必要な職員が確認しています。</li> <li>・入園にあたり、生育歴や家族構成、既往歴、予防接種の記録等のほか、園児、父母の写真を添付したパーソナルカード、健康記録表、個人情報使用の同意書、また食物アレルギー児の対応に必要な生活管理表、そして入園後、送迎時の確認に使用する写真付きの送迎者一覧表を提出します。また入園面接時には母子手帳を確認してします。</li> <li>・慣れ保育（園独自の表現）は30分、1時間から始まり2週間から1か月間ほど行っています。</li> <li>・毎日の様子を0、1、2歳児は個人別の連絡帳を使い、3、4、5歳児は出席ノートにコメントを書き込み、全体の生活の様子は「保育記録」でまとめたものが、毎日、玄関に張り出しています。</li> <li>・保育課程を基に年齢ごとに作成する年間指導計画と、より具体的な保育内容を示した月案、週案があります。乳児は個人別の指導計画が、幼児はクラス単位の指導計画で、見直しは赤字で表示されています。</li> <li>・毎月の振り返りや自己評価は指導計画表のなかに記載し、クラス単位のカリキュラム会議で報告され、職員間でも共有され、3か月ごとに期別の評価が詳細に記述され、園長、主任の確認印もあります。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者には、保育方針をクラス単位の保護者会等で説明し、意見を聞くほか、各種行事の後にもらうアンケートを、参考にしながら計画に反映し、掲示や園だより、クラスだより等でその見直しを伝えています。</li> </ul>
<p><b>I-3</b>  <b>快適な施設環境の確保</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年開設時に新築された本園の外観はベージュ色の明るい雰囲気をもつ 2 階建てで、1 階が 3 歳児保育室兼食堂、2 階が 4、5 歳児の保育室です。間仕切りは、子どもの目の高さに合わせた木製の棚で、内側は子どもの個人別のロッカーです。季節ごとの花や緑の植物、自然物で作った飾りなどを子どもの目の高さに飾るなど、子どもの感性を育てる環境です。床はクッション材を使用、転倒してもケガをしない配慮がなされ「すべて子どものために」の理念が生かされています。</li> <li>・分園は駅前タワーマンションの 2 階のぶち抜き部屋で、乳児専用です。以前は「横浜保育室ベビーぽけっと長津田」として使っていた部屋です。</li> <li>・分園は食事と午睡のスペースがワンフロアなので、食事時間はサークル、衝立を利用し、午睡の場所と区切ります。沐浴は 0 歳児の沐浴と 1・2 歳児の沐浴場所は別々です。保育室に間仕切りや衝立、棚を利用し、コーナー作りをし、遊具や生活用具などは肌触りのよい木製のものを多用、プラスチック製品が見当たりません。</li> <li>・職員は屋内、外ともに毎日清掃を行い、「保育室」「トイレ」等に分れた「安全点検チェックリスト」は、また、子どもの様子のチェックも同時に行うようになっており、点検者と主任、園長が確認しています。</li> <li>・通風換気は窓の開閉で調節し、空気清浄機もあり、申し分ありません。</li> <li>・本園は 1 階が食事スペース、2 階が午睡スペースとし機能別の空間を確保しています。</li> <li>・分園、本園とも異年齢の子どもが自然に触れ合えるように、本園 1 階はあそび場兼食堂となっており、毎週の「音あそび」はこの場所で全園児参加の合同保育の場となっています。</li> </ul>
<p><b>I-4</b>  <b>一人一人の子どもに個別に対応する努力</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0 歳から 2 歳児は、年間計画及び個人の月間指導計画、週案を立て、一人一人の発達に応じた計画を作成しています。</li> <li>・幼児について特別な課題がある場合には、個別の指導計画が作成されていますが、現在アレルギー児が一人在園しているだけで、障害児、未発達児もいないところから、個別計画(献立対応を含む)は一人分のみです。</li> <li>・配慮を必要としている子どもについて、保護者と定期的に面談し、情報を共有しながら要望、意見を聞き、園でできることは前向きに取り組んでいます。</li> <li>・子ども一人一人の個人ファイルを用意し、記録が常に保存されています。パーソナルカードを基本に、園内の記録として毎日の様子を記録した「生活記録表」、保護者向けに玄関に掲示されるクラスごとの「保育記録」、職員の情報共有のために「保育日誌」と「児童出席票」など毎日の保育状況が記録されています。基本となる生活記録表は、各クラスの個人ごとの記録が記入され 排便、前日からの引き継ぎ事項、親からの伝言、園からのお知らせ事項などその日の主な記録集となっています。</li> <li>・クラスの棚の上に置いてある「配置表」には、保育に必要な事項が網羅されており、各種会議の当番表、書類提出の期限、牛乳、乳製品のアレルギー児の対応表、感染症ガイドライン、引き継ぎ事項、生活記録表など一人一人の子どもの特記事項などが記載され、ローテーションで交代する職員にそのまま引き継がれています。</li> </ul>
<p><b>I-5</b>  <b>保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮を要する子ども、障害児は在園しておりませんが、今後は研修などに参加し、より学びを深め、積極的に受け入れを行う方針です。</li> <li>・各保育室はバリアフリーで床に特別なクッション材を使い 走り回って転倒してもケガをしないよう配慮され、子どもにやさしい床になっています。</li> <li>・虐待については、最重要課題としていつ発生しても対応できるような体制づくりをしています。新人保育士が多いため研修期間を 2 週間取り、救命救急も毎月講習会を開き、虐待について理解の深化に努めています。また職員が日々、</li> </ul>


	<p>確認をする「配置表」にはユニセフの子ども権利条約の要約版がファイルされ、折に触れ読み、職員同士が話し合っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談できる機関として、緑区役所こども家庭支援課と福祉保健センター、北部地域療育センター、北部児童相談所などがあり、園長会議や要保護児童対策協議会などで共に情報交換しています。疑わしい場合も含め、細かい気づきを園長、主任に報告し、通報する体制をとっています。</li> <li>・アレルギー児と申請があり、それに対しては、生活管理表を提出してもらっています。保護者と相談の上、給食の対応を行っています。 (又、大震災の子どもに与えた影響、トラウマを持つ子どもはおりません。) ムスリム (イスラム教信者) がおり食物で除去するものがありお弁当を持参しています。</li> <li>・横浜市食物アレルギーのマニュアルに基づき「アレルギーの対応マニュアル」を作成し、対応する準備はできています。</li> <li>・在園する子どもの両親の中に、外国籍の方もいます。連絡事項において、担任が口頭で伝えることや、英語のできる職員が対応するなどしています。また、会話の翻訳機を使うこともあります。 保育室の壁にはインドネシア、ブラジル、カナダなど6か国の国旗のカラー紙が貼りつけあり、異文化の知識を目で見えて覚えさせる配慮があります。</li> </ul>
<p><b>I - 6</b> <b>苦情解決体制</b> </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の同意印がある重要事項説明書の苦情相談窓口として、受付担当者は園長、解決責任者は原田学園学苑長、第三者委員は弁護士と記載があり、本園の第三者委員は弁護士1人です。入園のしおり、重要事項説明書に電話番号 名前が記載されています。今まで第三者委員が介入したケースはありません。</li> <li>・保護者へは入園前説明会で苦情相談について周知しています。</li> <li>・園では毎日の保護者との会話の中から保育サービス以外にも意見 要望を拾っています。「配置表」ファイルのなかの「申し送り事項」「生活記録表」の「家庭からの欄」で要望などを聞き取り、メモし、イベント後のアンケートで保護者の意見を聞きとるほか、年3回開かれる運営委員会で各クラス代表の保護者から意見を収集し、保護者会、個人面談でも要望を聞いています。</li> <li>・権利擁護機関として緑区役所こども家庭支援課に相談しています。</li> <li>・各種意見収集媒体で寄せられた意見は職員会議で報告し、解決策を検討、打ち出しています。内容は職員会議録、業務日誌に記録されています。</li> <li>・過去の苦情に関しては、記録簿で保管をしています。</li> </ul>

## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容



評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅱ－１ 保育内容[遊び] 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玩具、絵本など必要な遊びの素材は子どもの目線に合わせて配置し、絵本は重ねず表紙が見えるように1冊ずつ並べ、自分で取れるようになっています。</li> <li>・廃材の段ボールからロボット製作へと発展させ、子どもの自由な発想を遊びの中に活かしています。</li> <li>・年齢や発達に合わせて、遊びの中で順番などルールのあることを教えています。散歩では歩き方、横断歩道、信号などを実践しながら教え、子どもたちは一緒に遊ぶ楽しさやルールのあることを遊びの中で体験しています。</li> <li>・「お散歩マップ」を作成し、散歩や買い物で地域を知りわかるように玄関フロアに掲示しています。</li> <li>・自然と触れ合う機会を持つために園外活動を積極的に実践しています。草花、落葉、どんぐり、松ぼっくり、枯れ枝などを拾い集め、子どもたちが園に持ち帰って、製作づくりに活かしています。</li> <li>・外部の講師によるピアノ、ヴァイオリン、オーボエなどの音楽鑑賞、歌唱指導や表現活動の指導を受けています。定期的にミニコンサートがあり、この時には0、1、2歳児も参加をし、「本物」に触れること、「聴く」ことの大切さを学んでいます。</li> <li>・子ども同士のけんかは、（手が出そうなときは止めますが）、基本的には様子を見守りながら状況を観察し、子ども同士で解決できるように援助し、解決に至らないときは、公平に話を聞いて仲裁に入っています。自分の思いを言葉で伝えられない子どもには、職員が代弁して伝えています。</li> <li>・散歩に行くことが日課になっており、雨が降りそうな日も雨具を用意して出かけることもあります。</li> <li>・発達段階に応じて運動能力が高められる遊び、0、1、2歳はボール遊び、階段を使う、手押し車、3、4、5歳児は鉄棒、縄跳び、大縄、フラフープなど体を動かす遊びを意識的に取り入れています。</li> </ul>
Ⅱ－１ 保育内容[生活] 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は子どもの好みや食べる量を把握し、保護者と相談しながら子どもに適した量を提供しています。</li> <li>・0、1歳児は手づかみ食でも自分から食べようとする意欲につながるため、上手に食べられたときは褒めています。</li> <li>・子どもたちが園庭で育てた野菜を、自分たちで調理して食べる体験を保育に盛り込み、苗から収穫、調理、食すまでの過程を知り、実物を見たり、触ったりすることで興味、関心を持つようにしています。</li> <li>・3歳児以上ではテーブルにクロスをかけ、5歳児が園庭や散歩で摘み取った草花などを使いフラワーアレンジメントを飾り、食事の場づくりをしています。</li> <li>・子どもの好き嫌いを事前に把握し、職員は年齢に応じて小さく切り分けたり、食事形態に配慮し、苦手な食材も形や彩り、盛り付け、味付けなどで少しでも食べられるように工夫しています。</li> <li>・献立表と一緒に毎月「きゅうしょくだより」を発行し、子どもに人気のメニュー「かぼちゃのムシパンケーキ」のレシピの紹介や、8月では「夏野菜って何が体にいいの?」、旬の野菜の栄養価が高いことを手書きのカラーで分かりやすくお知らせしています。</li> <li>・眠れない子どもには、職員がおんぶをしたり、膝に抱っこをして眠りにつくようにしています。眠くない子どもには強要せず、横になって静かに体を休められるよう、衝立でコーナーを作るなどの配慮をしています。</li> <li>・トイレトレーニングを始める時には、保護者に子どもの現時点の状況、一人一人の発達状況に個人差があることを説明しています。職員は子どもの発達状況を見極め、保護者の意向も考慮し、連携しながら行っています。1、2歳児は一日の生活の中で活動の切れ目を目安に排泄に誘い、時期にばらつきはありますが夏には2歳児全員が取れています。</li> </ul>

<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 【健康管理】 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康管理に関するマニュアルがあり、登園時に睡眠、排便、食事、機嫌など家庭での様子を聞いて生活記録表に記入し、職員は把握しています。</li> <li>・既往症については入園前に保護者から情報を聞き取り把握しています。対応については入園前と入園後の４月に保護者と面談し、パーソナルカードに記録しています。職員には会議やミーティングで周知徹底をしています。</li> <li>・健康診断(年２回)、歯科健診(年２回)、尿検査(年１回３歳児以上)、視聴覚検査(４歳児のみ)を実施しています。個別ファイルの「健康記録」に記録し、入園時からの履歴がわかるようになっています。</li> <li>・健康診断、歯科健診などの結果は保護者に伝え、通院などの必要性が生じた場合は専門医療機関への受診を勧め、嘱託医と連携を図っています。</li> <li>・「感染症マニュアル」があり、保護者には入園説明会で感染症発生時の園での対応や登園禁止基準を説明しています。</li> <li>・保育中に発症した時は別室に移動させ、速やかに保護者に連絡をしてお迎えをお願いしています。感染症が発生した場合は、速やかに掲示でお知らせをするとともに、お迎えの際に口頭で保護者に伝えています。感染症に関する最新情報は横浜市感染症情報センターのホームページより情報を収集し、職員に伝え共有しています。</li> </ul>
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 【衛生管理】 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「衛生管理マニュアル」があり、マニュアルについては会議やミーティングで話し合い、定期的に見直しを行っています。感染症などの基礎知識は入職時に研修を行い、職員も年度初めに衛生管理についての研修を実施しています。</li> <li>・「救命救急訓練」のなかでも衛生管理について事例を出して行っています。</li> <li>・安全点検リスト表(保育室、トイレ、廊下、階段、外階段、など)があり、早番遅番のチェックリストに基づき清掃後にチェックを入れ、園長が確認し、押印するようになっています。定期的に害虫駆除をし、各保育室に手指消毒用のアルコールを置いています。</li> </ul>
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 【安全管理】 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロッカー、棚は可動式ですが、すべてに滑り止めシートがついており、重いものを上に置かないよう留意しています。安全点検は「安全点検リスト」に基づき毎日点検し、チェックを入れ園長、主任が押印することになっています。</li> <li>・マニュアルについては「事故防止・対応マニュアル」のほか、「安全点検チェック表」、「ヒヤリ・ハット記録簿」を作成し安全管理に関する注意事項を記載し、全職員は周知しています。</li> <li>・避難訓練年間計画表に基づき、園では災害を想定した避難訓練を毎月実施しています。</li> <li>・職員の数名が救急救命法を身につけています。順番に研修を予定しています。</li> <li>・保護者の緊急時の連絡方法については入園時に登録してもらっています。消防署、救急隊、警察などの関係機関のリストは保育室、事務室に掲示し、「入園のしおり」にも記載しています。</li> <li>・子どものケガについては軽傷であっても保護者に報告するとともに園内の「事故報告書」に発生状況、発生後の対応、保護者の対応、今後の対応を記録することになっています。</li> <li>・玄関は電子錠で施錠し、外部からの侵入防止に努めています。来園者にはインターホンのモニタと開錠の際にも二重にチェックをしています。分園ではビル全体が警備会社のシステムと連動した緊急通報システムになっており、緊急通報体制が確立されています。不審者対応・通報マニュアルに基づき対応訓練を年２回計画し、引き取り訓練も年１回実施しています。</li> <li>・不審者情報は緑区役所から情報提供があった場合は職員、保護者に連絡し周知徹底し、園でもパトロールをします。</li> </ul>
<p>Ⅱ－３ 人権の尊重 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉遣いや対応に職員会議で事例をあげて意見交換し、保育中に不適切な対応や言葉遣いに気付いたとき場合は、職員間でも注意し合っています。</li> <li>・横浜市主催の「人権研修」を受講し「保育の大切さを」学び、職員間で検証し合っています。</li> <li>・職員は、保育理念の「すべては子どもたちのために」保育方針の「のびのび</li> </ul>






	<p>と豊かな人間性をもった子どもを育成する」を思い起こし、職員一人一人が保育を見つめ直し、原点に戻って研鑽に努めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段から事務室を意識せずに入りやすいよう扉を開け、職員は子どもの顔が見えるように扉に向かって座っています。状況を見ながら必要に応じて1対1でゆっくり話し合える場として事務室を用意しています。</li> <li>・守秘義務の意義や目的については入職時に説明をし、誓約書を交わしています。個人情報の取り扱いについては、全職員に周知しています。</li> <li>・個人情報に関する記録はロック付きの場所に保管し、不要書類はシュレッダー処理しています。</li> <li>・遊びや役割など、性別による区別をしないよう常に留意し、食事の席も男女別にせず、年齢別で分けて好きな所に座るようになっていきます。</li> <li>・子どもや保護者に対する声掛けで、無意識に性差による固定観念的な発言をしていないか職員間で確認し合い、一人一人が人権意識を見つめ直し、研鑽に努めています。</li> </ul>
<p><b>II-4</b> 保護者との交流・ 連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「入園のしおり」に保育理念や保育方針を明記し、入園前の説明会では園長、職員が保育方針について詳細に説明しています。年3回の運営委員会、年度初めの保護者会、個人面談などにおいても説明の機会を設けています。</li> <li>・基本方針のアンケート結果では81%の保護者が基本方針に理解、賛同できると回答しています。</li> <li>・年初時4月の園だよりには保育の理念、方針、目標と学年別保育目標を明記し、職員の紹介をしています。毎月の園だよりにはその月のねらい、予定、翌月の予定などのお知らせを掲載しています。入園時や見学时に配布する「入園のしおり」に運営理念、保育方針を明記しています。</li> <li>・2歳児までは連絡帳があり、園での様子、(屋根の先から雨粒がポタポタ落ちているのに気づき、「おー!？」と驚いたことなど、小さな出来事、発見を伝えています。保護者からも靴下を自分ではけるようになり、びっくりしたことなどが書かれています。</li> <li>・個人面談は6月と11月の年2回実施していますが、希望があれば随時受け付けています。クラスの保護者会は年3回実施しています。</li> <li>・保護者からの相談はプライバシーに配慮し、落ち着いて話せる事務室で行うようにしています。相談を受けた職員は園長、主任に報告し、内容は生活記録表、保育日誌に記入し、継続的なフォローができるようにしています。</li> <li>・毎月「園だより」を発行し“その月のねらい”を乳児クラス、幼児クラス別に記載しています。</li> <li>・本園ロビーに子どもの1週間の保育記録を掲載しています。乳児は個人連絡帳に、幼児はクラス活動の様子を掲示してお知らせしています。</li> <li>・クラスごとの懇談会では学年別の保育目標、子どもの様子、行事予定などをわかりやすく説明しています。</li> <li>・年間行事予定は玄関ロビーに掲示し、「入園のしおり」にも記載しています。毎月配布の「園だより」では行事の日時を含め詳細に記載し、翌月2か月分の予定をお知らせし、保護者が参加しやすいように事前にお知らせしています。</li> <li>・毎年6月と11月は「保育参加強化月間」とし、保護者に参加を呼びかけ、そのうち1回は子どもと一緒に食事をする“食事を含めての保育”を実施しており、毎年100%に近い保護者の参加があります。</li> </ul> <p>園の行事のカレー作りやお餅つきでは保護者と豚汁、ご飯を炊く(火をおこして焚く)など、保護者、職員は常にコミュニケーションをとる機会を多く作っています。</p>

## 評価領域Ⅲ 地域支援機能



評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>Ⅲ－１</b> 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園だより 10 月臨時号『ファミリー運動会』の中で保護者のコメントが多く収録され、ほかにも「お芋ほり」「みどりっこまつり」「長津田エリア年長児交流会」（年 6 回開催）など地域でのイベント参加者から、本保育園への相談が寄せられています。園内では意見希望を気軽に寄せてもらうため、郵便ポストの形をまねた「郵便ごっこ」を設置し、「みなさまの声をお待ちしています」として園だよりでも呼びかけています。</li> <li>・本園への見学者年間 70 名を超え、見学者を受け入れる中で育児相談もあります。</li> <li>・地域の要保護児童への対応など、地域の子どもをめぐる諸課題に対し、要保護児童対策地域協議会など関係機関等と連携、テーマを決めて議論したりして協力し取り組んでいます。</li> <li>・本園は長津田商店街と町内会に加入しています。園庭前の道路駐車について問題が生じ、職員も日常の子育て支援の問題として送迎時の保護者との間に、慎重な対応を余儀なくされることがあります。職員の共通認識を持つように職員会議でも話し合われています。</li> <li>・本園は開設 3 年目であり、一時保育、園庭開放などは踏み切れていません。地域での交流保育「長津田エリア年長児交流会」（年 6 回、うち 1 回は本園担当）「みどりっこまつり」には協力して参加しています。</li> <li>・プロの音楽家による七夕コンサート「音あそび夏のコンサート」に地域の方々や未就園児や兄弟を招待し、好評を博しました。ピアノ独奏、ヴァイオリン独奏、ミュージカル曲など普段見ることができない本格的な演奏です。</li> </ul>
<p><b>Ⅲ－２</b> 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のパンフレット（NAGATUDA GUIDE）や長津田商店街公式ホームページなどで園の情報提供をしています。横浜市ポータルサイト「はびねすすぽっと」に園の紹介がありますが、園としてHPを持たないため、ネットを使った育児相談などの情報提供はできていない現状です。</li> <li>・育児相談は、見学者や飛び込みで相談に来られる保護者から随時受け付け、相談に応じています。</li> <li>・関連機関として緑区役所こども家庭支援課、福祉保健センター、北部地域療育センター、北部児童相談所、こども虐待 110 番、電話児童相談室、神奈川県警子ども 110 番などリスト化し、玄関に掲示されています。</li> <li>・これらの機関への窓口は園長が担当し、日常的に関係機関や団体と連携、連絡を取り合っています。特に緑区子ども家庭支援課の担当者とは緊密に連絡を取り、相談し合っています。</li> </ul>


## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<b>Ⅳ－１</b> <b>保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・七夕や園で行う音楽会などの開催・紹介をポスターなどで発信しており、園行事に就園児の友達の参加もありました。</li> <li>・「みどりっこまつり」に、園は全面的に協力し、「保育士さんと遊ぼう」や「親子体操パラバルーン」のブースのバックアップ、また、調理士による、「子どもの喜ぶ献立紹介」など、地域の子育てイベントに協力しています。</li> <li>・幼保小の連絡会議に、園長と５歳児クラスの担任が出席をして、情報交換に努めるとともに交流を図っています。</li> <li>・地域への施設開放や備品等の貸し出しは実績がありません。</li> <li>・近隣の保育園とは、小学校見学を隣園と一緒にするなど、協力関係にあり、年長クラスを中心にして交流しています。</li> <li>・近隣の種々の公設公園の利用や地元郵便局への手紙の投函、大型スーパーやＪＡ農協での苗、球根の購入など、子どもと地域との関係維持には、十分に配慮しています。</li> <li>・天気の良い日にはできるだけ散歩に出かけています。子どもたちは散歩時に出会う近隣の方とあいさつを交わしています。近隣の八百屋さん、ビル建設現場の警備員さんとは、顔なじみで、ハイタッチなどをしてエールを交歓しています。</li> <li>・隣接する小学校へは子どもと職員ともども出向き、交流をしています。</li> <li>・地域で行うお祭りや区役所が主催するイベントの案内チラシは、各保護者に配布し、玄関など人目につくところに貼りだして、親子での参加を呼び掛けています。</li> </ul> <p>＜改善を期待したい点＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子育て世代を支援できる保育の専門集団、施設として、施設や保有するおもちゃ・絵本をはじめとする、地域への資産の有効利用への働き掛けを期待いたします。</li> </ul>
<b>Ⅳ－２</b> <b>サービス内容等に関する情報提供</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑区が主催する、子育て支援祭り「みどりっこ」では、区役所に園紹介のパネルを作成し、人目に付くように展示、外部の電子情報提供媒体の「NAGATUDAガイド・長津田商店街ホームページ」に保育室の情報を掲載しています。</li> <li>・電話での園のサービス内容などに関する照会は園長、主任が対応し、延長保育に関することなど、必要な情報を伝えています。園見学者に対しては、保育の内容や持ち物、給食、延長保育時間・料金などパンフレットを基に詳細に説明しています。</li> <li>・園見学者に対しては、パンフレットを配付して園長、主任が運営方針やサービス内容などについて説明しています。</li> <li>・利用希望者からの電話での照会は園長、主任が対応し、説明しています。園長、主任が不在時は、掛け直しをお願いしています。</li> <li>・電話での問い合わせ時には、園内の見学ができることを案内しています。</li> <li>・園見学は保育に支障がない限り、保護者の都合に合わせていますが、自由遊びやプログラムに合わせて子どもたちが保育園生活している様子などの見学を勧めています。</li> </ul>
<b>Ⅳ－３</b> <b>実習・ボランティアの受け入れ</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「実習生受け入れマニュアル」「ボランティア受け入れマニュアル」があり、園長が実習生、ボランティアに対し、園の保育方針、利用者へのプライバシー保護や守秘義務について説明することにしています。ここ数年、実習生の受け入れ実績は、ありませんが、ボランティア・インターシップの学生の問い合わせがあり、実施予定です。</li> <li>・実習生・ボランティアの受け入れはマニュアルに従って、受け入れに際してはプライバシー保護、守秘義務について十分に説明しています。</li> <li>・園長が受け入れ担当となり、学校側からの受け入れの依頼書、実習生の記録を保管します。</li> </ul>




	<ul style="list-style-type: none"><li>・受け入れの際には、実習生の学年、学習経験、年齢、実習目的などをヒアリングし、効果的な実習ができるようにプログラムを工夫します。</li><li>・実習最終日には反省会を開き、園長（主任）、クラス担任出席のもと、振り返り、反省、意見交換を行い、園で保育の参考にするようにします。</li></ul> <p>&lt;改善を期待したい点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本園が保育事業の専門家集団として、地域に立地する以上、保育業界の将来を担う人材の育成には最大限の協力をする義務があります。将来の保育士を目指す学生に、機会を与えることを期待いたします。</li></ul>
--	--

## 評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<b>V-1</b> <b>職員の人材育成</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は職員の退職が見込まれる時は、学園本部に連絡し、①正規採用手配、②派遣会社手配、③アルバイト手配、④系列園からの補充などで、横浜市適正人員配置に反しない人員の確保を行っています。</li> <li>・設置法人作成の「保育士人材育成ビジョン」に基づいての職員の育成計画は現在ありません。園としては、種々の研修計画を年間で計画し、職員の資質向上の研修手段は打ち出していますが、残念ながら、職員一人ひとりの年間向上計画の目標管理までは至っていません。</li> <li>・設置法人では年間研修計画を打ち出し、希望する正規職員は受講することができますが、派遣社員、アルバイト社員は受講できません。しかしながら、受講した職員によって作成された「研修報告書」は回覧され、または、ミーティングで報告されて、内容は全職員で共有しています。</li> <li>・横浜市や緑区の「わらべうた」などの園外研修もあり、必要なテーマについて職員は、選択しながら受講しています。</li> <li>・職員からの「研修報告書」には必ず所感を述べる欄があり、これらの受講した職員の意見により、設置法人は次年度の研修計画を見直しをしています。また、「研修報告書」で書かれた内容と受講した職員と説明を受けた職員の意見により、本園での保育手法に反映させています。</li> <li>・マニュアルについては、特に配布したりしていませんが、各クラスに常備しており、保育の中で、何時でも、誰でも内容を確認することができます。</li> <li>・主任は、職員全ての就業状況を把握しており、非常勤職員はクラスの常勤職員と連携がとりやすいように、組み合わせたシフトを組んでいます。</li> <li>・年に1回、園長と非常勤職員の会議の場を設けており、園長より、園の方針、園の保育への取り組み方などを伝えたり、非常勤職員からの意見をくみ上げたりしています。</li> </ul> <p>&lt;改善を期待したい点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員一人一人が仕事に関する、モチベーションを維持するためにも、法人が設ける「人材育成ビジョン」の早期確立と職員一人一人の年間目標管理を期待いたします。</li> </ul>
<b>V-2</b> <b>職員の技術の向上</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラス担当は、毎月の指導計画の中で、振り返りや自身の自己評価を行い、保育の質の向上を目指しています。職員には、自分自身の自己評価を毎月、必ず書いてもらい、年度末には、65項目にわたる各職員による保育園の自己評価を行う仕組みです。</li> <li>・園長は、設置法人の会議で得られた、系列園における改善事例などを園に持帰り、職員会議などで園での活かし方を検討しています。</li> <li>・園は、「こどものとも社」より紹介を受けた、保育の専門家である、吉本和子先生の指導を受け、保育の質の向上を目指しています。</li> <li>・年間指導計画（期ごと）、月間指導計画、週案、保育日誌には評価・反省・自己評価欄があり、各期間終了時に保育実践の振り返りをする書式となっています。</li> <li>・評価・反省は子どもの発達過程に応じて明記したねらいと関連付けて、子どもの様子や指導結果について行っています。</li> <li>・指導計画の評価・反省はねらいに対しての指導結果だけでなく、子どもの意欲を大切にし、取り組み過程について詳しく観察して記録しています。</li> <li>・職員は指導計画の評価・反省を踏まえて、クラス内や職員会議などで話し合い、次の指導計画に反映しています。</li> <li>・保育計画の実践、展開について、個々の職員の自己評価は、昼礼やカリキュラム会議で報告し、話し合っています。第三者評価の自己評価票では、職員全員がそれぞれ自己評価を行い、それについて会議にて話し合い、園としての自己評価を纏めています。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の自己評価結果から園としての課題を明らかにし、今後、地域との関わりや園からの地域への情報発信などに取り組んでいくこととしています。</li> <li>・基本方針、園目標、保育課程に基づき、園としての自己評価を行っています。</li> <li>・園長は、保育士などの自己評価に基づき、認可保育所どうぞのひろばの自己評価結果をまとめ、保護者に対して玄関に掲示して公表しています。</li> </ul>
<p>V-3 職員のモチベーションの維持 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人には経験・能力レベル別の保育実践に必要な専門的知識・技術、保護者対応、社会性・協調性などを期待水準として明文化された「保育士人材育成ビジョン」はありませんが、毎年、職員の資質向上を目指した、年間研修計画は作成されています。</li> <li>・業務マニュアルに職員の職務分担について明記しており、各クラスに関することは各クラス担任に任せ、園長、主任への報告・連絡・相談を励行するように指導しています。</li> <li>・園では各行事の度に保護者からの意見をくみ上げる「保護者アンケート」のほかに、職員からも年度末の「自己評価表」提出があり、両側面からの意見を集めています。</li> <li>・園長は職員との面談を年2回実施しており、必要に応じて、個別に職員と話し合う機会を持ち、意見・要望の把握に努めています。</li> </ul>

## 評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<b>VI-1</b> <b>経営における社会的責任</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園では、倫理規律、服務規律について、及び社会人としての心構えやコンプライアンスについては、「就業規則」「職員行動基準」が決められており、職員は入職時の研修で理解しています。また、「就業規則」は、誰でもすぐに手に取れる場所に保管してあります。</li> <li>・設置法人は学校法人なので、経営・運営状況の公開は義務付けられています。</li> <li>・設置法人の園長会議で報告される系列他園の不正や不適切な事例があれば、園長は園に持ち帰り、自園にあてはめて問題点について話し合うことにしています。また、注意を喚起することにはしています。</li> <li>・園ではゴミの分別を行い、ゴミの減量化とリサイクルのための取り組みを行っています。保護者から牛乳パックやペットボトル、新聞紙などの廃材を提供してもらい、製作や手作り玩具、コーナー作りの材料として利用しています。</li> <li>・夏季は「あさがお」「フーセンカズラ」などのグリーンカーテンを栽培し、エアコンの省電力化に取り組んでいます。</li> <li>・園内に「節電」の貼り紙を貼りだして、室内の電気のスイッチはこまめに切ることや、エアコンの設定温度など、省エネルギーに対する取り組みを積極的に行っています。</li> </ul>
<b>VI-2</b> <b>施設長のリーダーシップ・主任の役割等</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園目標「すすんで体を丈夫にする子」「友だちとあそべるやさしい子」「ねばり強くがんばる子」、理念「“全ては子どもたちのために”を合言葉に、子ども一人一人を大切に、保護者からも信頼され、家庭的で地域に愛される保育所を目指す」、保育方針「のびのびと豊かな人間性をもった子どもを育成する」を玄関、保育室に掲げています。</li> <li>・職員へは、会議やミーティングなどで理解が深まるように話しています。</li> <li>・年数回の職員個人面談時に、園長が理念・基本方針の理解度を職員に確認しています。</li> <li>・新設園の立ち上げや開園時間の変更などの、「重要な意思決定」については、可能な限り保護者と意見交換し、理解を頂いた上で進めています。</li> <li>・上記の例では、園は保護者への説明会を開催し、また、各保護者に対して「お知らせ」を配布するなど、十分に説明するように努めています。</li> <li>・「重要な意思決定」に関しての保護者説明会では、原田学園学苑長が出席して、説明にあたることもあります。</li> <li>・主任は、横浜市と緑区の主任に必要な研修を受講しています。主任は園長と職員の間に入り、職員の業務状況を把握した上でシフトの組み方を調整しています。主任は若い職員に対しては、社会人としての常識や保育技術に関することまで、助言・指導を行っています。</li> <li>・主任は職員の体調が悪そうな時は声掛けし、早退や休みをとるように促してシフトの調整をし、職員の休暇希望を取り入れてシフトを作成するなど、職員の精神的・肉体的な健康面に配慮しています。</li> </ul>
<b>VI-3</b> <b>効率的な運営</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「改定保育指針」など、保育及び乳幼児教育情報などの事業運営に関する情報の収集・分析は設置法人で行い、必要な情報は各園に流し、園長は緑区園長会議には必ず出席し、地域からの必要情報の把握に努めています。</li> <li>・事業運営上の重要事項については設置法人の幹部職員会議で話し合い、園長会議で報告されます。</li> <li>・園長会議で得られた、他園での改善事例などは園に持ち帰り、職員会議などで園としての対応を検討しています。</li> <li>・園は学校法人の保育事業部門であるため、その性格上中期（3年）長期（5～10年）の事業計画は必須事項であります。そのため系列の「認可保育所どうぞのひろば」「学校法人原田学園みたけ台幼稚園」「小規模保育事業ベビーぽけっと松風台」の三園が、「改定保育指針」に対応すべく、一貫した保育・サービス、利用者数、保育士養成などについて検討しています。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・次代の組織運営に資する目的で園長は外部研修にでかけ、常に変化する保育ニーズに応えられるサービスは何か などの将来の課題について情報を収集しています。</li><li>・学校法人であるため、次世代の後継者は園長一人では決められず、主任クラス、リーダークラスの育成に研修を積極的に受講させるなど努めています。</li><li>・園長は専門家の意見等を取り入れられるよう、大学のスクーリングや赤ちゃん学会へ参加し、園運営のノウハウの把握に努力しています。</li></ul>
--	---



# 子ども本人の観察調査

平 29 年 10 月 6 日、26 日

## 事業所名：どうぞのひろば保育園

### 【0、1、2、3、4、5 歳児】

#### <ミニコンサート>

ミニコンサートは Full Dream 音楽教室主宰の幼児クラス向けに「音あそび」の時間の前に演奏をする企画で、通常は毎週「音あそび」プログラムで園児たちに音楽を通じて遊びを体験させています。

この日のミニコンサートはバイオリンソロとピアノ伴奏によるヒット曲「ジュピター」。平原綾香の唄をプロのバイオリニストが目の前で本格演奏します。バイオリンの高い音は非常に迫力があり、子供たちは聞き入ります。めったに経験できないことなのでしょう。

幼児時代に一流の音楽家の演奏をきく機会があることは成人した時、教養 感性豊かになってほしいという願いという見地からの企画です。

演奏に先立ち子供たちは、にぎやかに声高にしゃべっていましたが、ピアノの「トン、トン、トン」とキーをたたく合図で急に静かになりました。ピアノの音で“静かに”と合図したので、音の調子で静かにすることを学んでいます。この後、演奏された「ハイホー」もバイオリンの音色が部屋の中に響き渡ります。

その音のきれいさ、鋭い音色に子供たちは圧倒されています。乳児クラスの子どもたちもいましたが、先生が抱いて静かに声をあげません。子どもなりにわかっているようです。

この曲の後「はらぺこあおむし」で、子どもたちに絵本を見せながら、ピアノの伴奏で物語を話していきます。

### 【0 歳児】

#### <遊び>

分園のお友達が園庭に遊びに来ました。

この日の 0 歳児は 10 か月の子どもが一人です。砂場で遊び始めた 1 歳児のところへ、よちよち歩きの 0 歳児が行こうとしています。いつ転ぶかわからない 0 歳児を職員は、つかず離れず見守りながらついていきます。

はじめは 1 歳児の遊んでいるのを興味深そうに眺めていましたが、そのうち自分でもやりたくなったようで、足もとにあったカニの形の容器やリンゴ型、深型の容器に目がいき、スコップやシャベルで砂を入れ始めました。上手く入ると職員は「上手！上手！」と手を叩いて褒めています。手を叩いてもらうたびに嬉しそうな顔をしてまた、やりはじめました。何度も繰り返しやっているうちに、砂が自分の服にかかってしまい一瞬、子どもはどうなったのかわからず動作が止まってしまいました。状況を見ていた職員は、今にも泣きだしそうな子どもの顔を見て、服にかかった砂をすぐに払いよけ、きれいにしてあげると、子どもの顔に笑顔が戻りました。

### 【0、1 歳児】

#### <食事>

今日の献立は筑前煮、切り昆布の和え物、野菜のあんかけスープです。0 歳児の食材は細かくみじん切りになっています。ベビーラックに入っていると食事が運ばれてきました。眼前に置かれたご飯に子どもの手が伸びました。スプーンで口に持っていこうとしており、こぼれはありますが自分で食べようとしています。そのうち手づかみ食べになりましたが、職員は子どもの食べる意欲を尊重し、様子を見ながら手助けしています。

※食べ終わるとデザートが出てきました。今日はバナナです。職員にむいてもらってバナナをそのまま口に入れてしまい、慌てた職員が子どもの口に手を入れて出そうとしています。子どもは顔を背け、拒否しています。この動作を繰り返しているうちにバナナは喉を通過

しまいました。

(この件につきまして、職員に状況を確認いたしました。＜バナナの皮をむいた後、保育者が4等分にしたものの1つを口に入れました。調査員の方が離れたところから「大きい？」との声が聞こえ、気になった職員が子どもの口に手をはこびました。しかし、咀嚼もしっかりしているのでその後は食べ終わるまで見守っていました。＞)

#### ＜午睡＞

食事が終わるころには隣の場所に午睡の準備ができています。布団はリースしており、その上に敷くシーツ（バスタオル）は各家庭で用意をしてもってきたものです。トイレを済ませた子どもが次々とやってきます。食べた後でもう眠いのか、横になるとすぐに眠りにつく子、なかなか眠れず寝返りばかりしている子ども、職員は寝付けない子どもや、眠れない子どものそばについて背中をトントンしたり、膝の上で抱っこしたり、立ってオンブして眠りにつくように援助しています。0歳児は1番早く眠りに、そのうち一人、また一人、次々眠りについて短時間のうちに全員が眠りにつきました。

### 【1歳児】

#### ＜散歩＞

今日は本園の園庭まで出かけました。園庭の砂場では、何人かの子どもたちが、カップに詰めた砂をプリンに見立てて、スプーンで掬い出しています。遊びが終わると、保育士の指導で、カップとスプーンとシャベルをおもちゃ箱にしまします。園庭には、年長児が部屋で遊ぶ組み立て式木製積み木は法人学苑長が手作りで、子どもの等身大の積み木に作り出し、庭に組み立てたドリームログで5歳児が作ったものがあります。1歳児もこれが大好きで、迷路のように組み立てられたドリームログで作ったおうちを、潜り抜けたり、出たり、元気に遊んでいました。遊び終わると園庭の塀際の縁石に座り、お茶タイムです。迷路の子どもたちは、まだ名残惜しく、遊びをやめません。

いよいよ、駅前の分園に向けて帰園です。保育士といろいろ話しながら歩きます。いつも会う果物屋さんとは、手を振ってご挨拶です。マンション建築場の警備員さんとも顔なじみです。別の保育園ともすれ違い、これも手を振ってご挨拶。一人の子は遊び疲れたのか、眠くなって保育士に抱っこされています。歯医者さんの窓ガラスから見える、アンパンマンのおもちゃの自動車には、全員興味津々でした。

### 【2、3、4、5歳児】

#### ＜散歩＞

園長はこのやや遠めの散歩の意義をこう説明してくれました。「丈夫な体を作る。それには1歳で1キロ、2歳で2キロ、3歳で3キロ、4歳で4キロ、5歳で5キロ歩けるような体力づくりに努めます。

片道1キロメートルはある散歩へ合同で出かけました。総勢22名、住宅街の裏道を通り、坂を下り、周囲に畑が広がる田園風景のなか、川をわたり、鯉の泳ぐ川べりを歩き、交通量の多い県道を通り越して、JAの直売所へ往復します。

秋の日の紫外線を防ぐ黄色い帽子をかぶり、4・5歳の男児はサスペンダー付きの半ズボン、女の子はスカートという制服を着て水筒を持っています。住宅街は小道が多いのですが、必ず手をあげ確認しています。

道行く老人たちには「おはようございます」とあいさつをすると、ニコニコ顔で「おはよう」と返ってきます。坂を下る途中に畑があり、柿が沢山見えます。「あれ食べられるんだよね」「まだ青いからダメだよ」と、口々ではしゃぎながら進むと川に出ました。

1級河川である恩田川は水がきれいで、透明で汚れてはいません。川べりから白い鯉、まだら色の鯉などが泳いでいるのが見えます。子ども達には鯉がめずらしいのか、「あれ およいでいるよ」「何だろうね」「大きいね」と先生に問います。立ち止まって先生は説明します。

川の葦のなかに白い大きなプラスチックが捨ててあるのを見て。「あれなあに」と子どもがいうと、「あれはね、ここに捨ててはいけないの。ごみ捨て場にすてなくちゃね」と教えています。こどもの好奇心の旺盛さに先生も大変です。

川辺を過ぎると県道に出ます。交通量が多く、信号もありません。歩道は狭く、子どもたちは2人並んで手をつなぐことはできません。一人ずつやっとな歩ける程度の歩道です。「間を空けないで歩いてください」と伝えます。このあたりで先生が2人増え、8人になりました。散歩に出

かけて時には時差出勤の職員は追い掛けていくようにしています。  
横断歩道は慌てず、すみやかに渡ることを職員間で共有しています。

「道の端を歩くという交通ルールを、意識して歩かせるのがねらいです」とクラス担任はその日の保育記録に書いています。

着いた JA では職員のおじさんたち 3 人が喜んで説明してくれます。子どもたちは苗売り場に興味があるようで「チューリップの球根ありますか」と問いますと、「明日入荷しますので、今日はありません」。「なんだあないの」とがっかりしたようです。いろいろな苗の実物で説明してくれます。先生が「何か買おうか、これはどうかな、何かわかるかな」とこどもに問えば、「カリフラワー」と答えが返ってきます。そのような問答をくりかえしながら、「白菜」「キャベツ」の 3 個の苗を買いました。こどもの何人かはその名前を知っていました。

来た道を帰ります。途中、持参した水筒で 10 分ほど休憩しながら水分を補給します。

1 キロ以上歩いたはずですが皆元気です。一人ぐずっていた子がいましたが、先生に励まされ歩き始めました。

帰りの難所である坂を上りますが子どもたちは平気です。

往復 2 キロはある道のりを子どもたちは歩いて帰ります。

園長の説明にある通り 2 歳の子ども 8 人は、みな 2 キロを歩き通しました。

園に帰ると、買って来た苗を植えますが「どこに植えればいいかな」と場所を先生がたずねます。庭に大きなプランターがあるのを知っており子どもが「あれに植えよう、土に植えなきゃダメ」と植えるところを決めていきます。

子どもはクラスごとに分かれ、植え始めます。5 分ほどで終わります。3 つの野菜の苗は数か月後、生長して食べられるようになります。その生長過程の見守りも子どもたちが行うそうです。

今回のやや遠めの散歩は、この園には、田園地帯で自然とのふれあいが沢山あり、交通ルールも身につかせながら、最後まであきらめずに歩かせることにより、子どもに丈夫な体をつくるという方針にかなうものとなっています。

## 【2 歳児】

### <排泄>

散歩から帰ってきた 2 歳児が食事前のトイレに行きます。トイレ時の着脱はみんな自分でしており、「先にいくよ！」声掛けをして先に行きました。職員は一緒について見守っています。まだ、行きたくない子も習慣づけとしてトイレに行きます。どうしても出ない子は座るだけですぐに出てきます。どうしてもトイレに行きたくない子は無理強いせず、食事のあとでということで、職員は「手をよく洗ってね!」、トイレ後の手洗い、食事前の手洗いをしっかりするようにみんなに伝えています。

### <食事>

今日の献立は筑前煮、切り昆布の和え物、野菜のあんかけスープです。食べやすい大きさにしてあります。「いただきます」の挨拶で一斉に食べ始めました。

調査員は 2 歳児と一緒に食事をしましたが、「どこから来たの?」「どうしてきたの?」「おうちはどこ?」子どもたちから質問攻めです。みんな興味津々。お話に夢中で、手が止まっている子どもに職員が「〇〇ちゃん、お口もぐもぐしてね」

やさしく声掛けしています。黙々と食べている子どもが「お代わり!」をいうと他の子どもも急いで食べ始めました。食後のフルーツ、バナナを食べたくて懸命に食べている子ども、すばやく食べ終えた子ども、「今日はここへ下げてください!」という言葉がけ、自分の食べた食器を指定されたところに持っていきます。スプーン、フォークは危ないので職員が下げます。

3 分の 1 くらいの子どもはお代わりをしていましたが、なかには主食、副食全部お代わりした子どももいました。どの子どもも完食です。

### 【3、4、5 歳児】

#### <朝の会>

はじめは4、5歳のみで先生の前に座り、「みみのおはなし」絵本の読み聞かせです。つぎに「あしたは何するか知ってる？」の問いに、「芋ほり！」との元気な答えが返ってきました。今日はチューリップの球根を一人3個ずつ植えるとのこと。

そのうちに3歳児も2Fに上がってきて、朝の会の合流です。

各年齢からの当番さん3人が前に立ち、「朝の会を始めます」「おはようございます」「今日は何月何日何曜日ですか」「10月26日木曜日です」。その次に、各クラスの当番さんが、自分のクラスメイトの名前を呼びます。「〇〇くんは元気ですか」。呼ばれた子は、「ハイ」と手をあげて、「げんきです」と答えます。さあ、これからが「ミニコンサート」なので、順番に1Fの3歳児室に移動します。

#### <午後のおやつ>

子どもたちはテーブルにつき、スプーンとカップを前に置き、何やら会話しながら座っています。2階で午睡後着替えた子どもから順番に降りていきます。

今日のおやつは「ゼリー」でしたが、5歳児の何人かは調整してもらいに調理室カウンターに並びました。子どもの大好物な「ゼリー」ですが、子どもたちにもおやつ好みはありまして、好き嫌いを考えて調整するのではなく、食べられる量を知らせ、調整するようにしています。

当番(5歳児)が一人、前に立ち、「静かにしてください」と大きな声を出しました。皆、一瞬「シーン」。「今日のゼリーは、桃と豆乳ゼリーです」と調理室カウンター側の献立ボードを見ながら話しました。一斉に「いただきます」、皆、おいしそうに食べていました。食べ終わった子から、食器を片付け、絵本コーナーに集まり、絵本読みです。5歳児は自分で読んでいるようでしたが、ほかの子は、黙々とページをめくっていました。

### 【3 歳児】

#### <音遊び>

ミニコンサート終了後は、続いてクラス別の音あそびの時間に入ります。所要時間30分です。ピアノ主導で声の出し方から教えていきます。

5人の子どもがピアノの音で一斉に立ちます。手を後ろに組んで、すこし足を開き、大声が出る態勢になります。「ねがいごと」という歌で両手を上に伸ばしたり、下げたりしながら歌詞にそって動かしていきます。

3歳児ですから十分できません。歌もつかえ、つかえです。ジェスチャーがバラバラですが、子どもたちは恥ずかし気なく、挑戦しています。ハロウィン用の唄「ジャック」では、かぼちゃのお化けのジャック君がきて、魔法のつえにかけられ、ウサギになったり、ひよこになったりしてリズムののって遊んで楽しんでいました。

指導計画では「歌ったり、手遊びしたりしてリズム遊びをしたりすることを喜ぶ」とあり、そのような場面がいくつも見られました。

### 【4 歳児】

#### <音遊び>

同じピアノ伴奏の先生とバイオリニストが指導に当たります。3歳児と同じ曲の練習をします。練習に先立ち先生のあいさつ、子どもの返礼のあいさつがあります。ちゃんと礼のあいさつができます。「ねがいごと」の曲では、4歳児は声がそろい、曲の展開に従って、テンポが早くなり、大きな声で歌っていきます。

手を大きく上げて、輪を描くジェスチャーも、手をつないで輪になって歌うこともできています。歌は次第に高音になり、一オクターブ上の音になっても、子どもたちはついてゆきます。リズムをとるのがうまくなっているのです。

つづいてハロウィンに因んだ曲「ジャック」に移ります。絵本の朗読に続いて、絵本に出てくる魔法のつえで変身してゆく様子を体で表現してゆきます。バイオリンの先生が子どもたちと一緒に、かぼちゃ、かくれんぼ、輪になって遊ぶ、床にころがるなど、自由に表現していきます。

3歳児よりも格段に理解度が進んでいるようです。

指導計画(9~12月)の「表現・創造」の部では、「絵本やお話を喜んで見たり聞いたりしてイメージを広げる」「友達と一緒にのびのびと体を動かし踊ったり自分なりに表現したり楽しんだりする」とあります。指導計画通りの展開が見られました。

## <チューリップの球根植え>

10月6日片道1キロの散歩で、JA農協にチューリップの球根を買いに行きましたが、未入荷で買えなかったその球根をその後で買い求め この日園庭にあるプランターへ植えました。

「今日はチューリップの球根を植えます」と先生がいうと、「赤いのが好き」「黄色がいい」「薄ピンクがほしい」と子どもたちは口々に希望を出します。子どもたちの方が、チューリップにいろいろな種類があることは、よく知っているようです。家庭菜園で経験があることがわかります。「何コ植えるの」・「はい 3個です」・「1のプランターに3個植えます」と先生がいいます。「何色にしようか」と一人3個ずつ球根を渡します。

「土はどれくらいかけるのですか」と子どもが質問します。「土はやさしくかければいいの」・「昨年やったでしょう、それを思い出してね」というと、子どもたちは思い出したのか、思い思いに植え始めました。あっという間に植えてしまいました。

「来年は花が咲くように、お世話していきましょう。時々水まきして、早く芽が出て、枯れないようにしましょう」と先生がこれからお世話していこうと子どもたちと約束しました。

「季節による自然の変化の中で草花を愛して慈しむ、という優しい心根をはぐくむにはチューリップが一番身近で、きれいなうつくしい材料です」と先生はチューリップを選んだ理由を言っていました。

## 【5歳児】

### <体調のすぐれない子どもの対応>

体調のすぐれない5歳児の女の子が、職員と2人で静かに過ごしています。ちょっと覗いてみると、キッチンで何か作っています。このコーナーのキッチンはシステムキッチンを模倣したミニ版で木製でできています。シンクの蛇口は金属製の本物、コンロにはつまみがあり、下段の引き出しには調味料入れ、鍋、フライパン、お玉、フライ返し、ボールがあり、こちらも模倣のミニ版です。

みんなが散歩に出かけているので今は独り占め、職員とケーキ作りの真っ最中です。時々女の子が職員に指示を出して、トレーやトングの準備をお願いしています。ケーキのトレーに出来上がったケーキをピースに分け、戸棚にしまい完成です。

お友達と遊ぶ時には「ごっこ遊び」でケーキ屋さんやアイス屋さんをするそうです。カウンターにはレジスターがあり、手動ですが引き出しが開いてお金の入れるところもあります。子どもたちに一番人気のある遊び場になっています。

好きな遊びができた女の子の顔には満足した表情が見られました。

### <食事>

5歳児の食事は自分の食べる量を自分で決められます。

1階のフロアは3、4、5歳児22名が合同で食事をとる場所です。食事の後は遊びの場所にも変化します。調査員は5歳児のテーブルで共に食事しました。

この園ではテーブルクロスを敷き、トレイを使わないという本格的な食事風景が見られます。自分たちの栽培した季節の花(フラワーアレンジメント)が飾られていました。保育園では珍しい本格的なものです。

座る場所も決まっており、ご飯は自分で食べられる量を盛り席へ運びます。白菜のとろみスープ、筑前煮、塩昆布の和え、みな自園で調理した給食です。おかずの白菜のスープ、筑前煮、塩昆布の和えは、席に配膳されたものを自分で「多い」とおもったら、調理員に調整してもらいます。

自分で食の量をきめているのです。この日の当番は一人で、開始の掛け声をします。声が通じませんが、それでも先生のヘルプで、「いただきます」の唱和をリードすることができ、食事ははじまりました。食事時間の制限はありませんが、来年小学校へ進級するので小学校スタイル「20分でたべる」ことを目標にしているようです。

横浜保育室時代からの持ち上がりである5歳児は、箸使いも上手で不安を感じさせません。あまりおしゃべりしないで食事に集中しています。先生も一緒に食べながらみているだけです。食べ散らかしはほとんどありません。

テーブルクロスを汚さないという、躰けをしていることを感じさせます。

当日クッキングした料理ですから、沢山残すことはなくほぼ完食です。

おかわりは自由で テーブルの上にご飯があり、好みの量を自分で盛り付けしています。  
おおよそ 20 分がすぎ、食後のバナナを食べ終わった子どもたちは、各人椅子を保育室  
の端に持って行き、積み上げていきます。

テーブルクロス、テーブルの片づけは先生が行います。

この園の床材は、転倒してもケガをしない、柔らかいクッション材を使っていますので、先生  
は 3、4 歳児が少し床を汚したところをすぐふいています。

食育計画 10 月に、「よく運動することで食欲が増し、おいしく食べられて、自然と食事のつな  
がりを気づくように配慮する。そして丈夫で強い体をつくる」とありますが、長い距離の運動の  
あと、自園で調理した給食をおいしく食べることで、丈夫で強い体を作る上で効果がありそうで  
す。

## どうぞのひろば

### ■保育園の基本理念や基本方針についておたずねします。

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか(○は1つだけ)

1よく知っている 4名 14%	3どちらともいえない 4名 14%	4あまり知らない 1名 3%	無回答 (%)
2まあ知っている 20名 69%	5全く知らない 名 %		
合計			29

付問1 【「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」とお答えの方へ】

あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。(○は1つだけ)

1賛同できる 20名 83%	3どちらともいえない 1名 4%	4あまり賛同できない 名 %	
2まあ賛同できる 3名 13%	5賛同できない 名 %		

### ■ここからは保育園のサービス内容について、満足度をおたずねします。

問2 お子さんが入園する時の状況についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。(○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

(上段の単位は人)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	13 45%	11 38%	0 0%	0 0%	5 17%	0 0%
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	14 48%	13 45%	1 3%	0 0%	1 3%	0 0%
園の目標や方針についての説明には	15 52%	13 45%	1 3%	0 0%	0 0%	0 0%
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	17 59%	12 41%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
保育園での1日の過ごし方についての説明には	16 55%	12 41%	1 3%	0 0%	0 0%	0 0%
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	12 41%	14 48%	3 10%	0 0%	0 0%	0 0%

問3 保育や行事の年間計画についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。(○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	13 45%	10 34%	4 14%	0 0%	2 7%	0 0%
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	13 45%	12 41%	2 7%	0 0%	2 7%	0 0%

問4 日常の保育内容についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。(○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	22 76%	5 17%	1 3%	0 0%	1 3%	0 0%
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	22 76%	6 21%	0 0%	0 0%	1 3%	0 0%
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	23 79%	6 21%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	19 66%	10 34%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	23 79%	6 21%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	20 69%	9 31%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	21	7	1	0	0	0
	72%	24%	3%	0%	0%	0%
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	23	6	0	0	0	0
	79%	21%	0%	0%	0%	0%
基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	27	1	1	0	0	0
	93%	3%	3%	0%	0%	0%
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	22	6	0	0	1	0
	76%	21%	0%	0%	3%	0%
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	21	5	0	0	3	0
	72%	17%	0%	0%	10%	0%
お子さんの体調への気配りについては	22	6	0	0	0	1
	76%	21%	0%	0%	0%	3%
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	21	6	1	0	1	0
	72%	21%	3%	0%	3%	0%

問5 保育園の快適さや安全対策などについてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。（〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。）

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	13	11	5	0	0	0
	45%	38%	17%	0%	0%	0%
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	19	7	2	1	0	0
	66%	24%	7%	3%	0%	0%
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	18	7	2	0	2	0
	62%	24%	7%	0%	7%	0%
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	16	11	2	0	0	0
	55%	38%	7%	0%	0%	0%

問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。（〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。）

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	16	12	1	0	0	0
	55%	41%	3%	0%	0%	0%
園日よりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	18	8	3	0	0	0
	62%	28%	10%	0%	0%	0%
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	12	10	6	1	0	0
	41%	34%	21%	3%	0%	0%
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	15	12	2	0	0	0
	52%	41%	7%	0%	0%	0%
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	18	10	0	0	1	0
	62%	34%	0%	0%	3%	0%
保護者からの相談事への対応には	15	13	1	0	0	0
	52%	45%	3%	0%	0%	0%
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	15	11	1	0	2	0
	52%	38%	3%	0%	7%	0%

問7 職員の対応についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。（〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。）

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	21	8	0	0	0	0
	72%	28%	0%	0%	0%	0%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	24	5	0	0	0	0
	83%	17%	0%	0%	0%	0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	15	8	0	0	6	0
	52%	28%	0%	0%	21%	0%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	21	8	0	0	0	0
	72%	28%	0%	0%	0%	0%
意見や要望への対応については	15	13	0	0	1	0
	52%	45%	0%	0%	3%	0%

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

総合満足度は	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
	18	10	0	0	0	1
	62%	34%	0%	0%	0%	3%